

ま な び や

# 目黒の学び舎から



聖契神学校ニュースレター No.24 2010年2月24日発行 発行人 関野祐二  
〒153-0061 東京都目黒区中目黒 5-17-8 聖契神学校 電話 03-3712-8746 FAX 03-3712-8804  
URL: <http://www.seikei-seminary.org/> E-mail: [covenant-seminary@nifty.com](mailto:covenant-seminary@nifty.com)

---

主の聖名を讃美いたします。

いつも聖契神学校のため、お祈りとご支援をいただき、ありがとうございます。この季節になると思い出す、「どーこおカーで、はーるうが、うまれーてる〜」という童謡は、祖母の愛唱歌でした。先日食卓に登場したふきのとうは、口が曲がるほど苦かったのですが、まさに春の味覚。神学校斜向かいの白木蓮も順調につぼみをふくらませ、あとは暖かくなるのを待つばかりです。

夕暮れもずいぶん遅くなりましたね。朝明けが早くなったかどうかは夢の中でわかりませんが。「私のたましいよ。目をさませ。十弦の琴よ。立琴よ、目をさませ。私は暁を呼びさみたい」  
(詩篇57:8) 校長 関野祐二

## ● 個人面談もうすぐ終わり

今年も年明け早々、個人面談のご案内を在校生に配布。無理をせず、一人30分限定で(まるで歯医者予約ですね)受付をしました。新しい椅子まで買って(事務用ですが)、物置状態の校長室に皆さんをお迎え。数えてみたら、現在までに34名と面談したことになります。なるべくふだんから皆さんと顔を合わせてクラスの前後に廊下であいさつをし(時にはクラス前に教室へ乱入し)、安否を問うているのですが(ある人たちは顔を避けて目前を通過。理由は?)、さすがに深い話まではできず、一対一の時間を確保し、面と向かい合って初めて出て来ることも多くあります。教会のこと、将来のこと、健康のことなどなど。牧会者ではないので、出過ぎた助言や深入りは避けますが、ある意味で立場の不安定な(経済的きびしさや将来の先行き不安、教会でのポジション取りのむずかしさなど)献身者特有の葛藤については自分でも経験があるので、いっしょに祈ることができます。兎にも角にも、ある一定の時間を共有すること自体に意義があるような気がします。「先生の祈禱課題は何ですか?」といきなり聞かれ、面食らったことも。

敬愛するT師の近刊が神学生たちに好評で、ずいぶん売れました。副題はLet it be(あるがまま)。現状に(一見正しい)無理な解釈を加えることなく、あるがままを受け止め、その中に喜びと感謝を見いだしていく。悔い改めつつも、そのスタンスをたいせつにしていきたいと思います。

## ● 卒業は7名、入学は?

今年度の卒業予定者は、専門科7名です。すぐに責任ある現場へ遣わされる人、準備と祈りを続ける人、信徒として教会に仕える人さまざま。ともあれ、途中で挫折すること(鬼教師はこれが一番恐れます)なく、よくぞここまで厳しい学びを完遂されました。それだけでも十分に表彰状もの(卒業証書授与はその意味もありますね)。言うまでもなく、神学校が提供できた学びや訓練は、現場で起こるさまざまな状況に対処するにはあまりにもわずかですから、これからも学びつつ働き、働きつつ学んでください。クイズや課題が恋しくなったら、特別聴講でカムバツ

クも大歓迎(そういう現場牧師も複数いますよ)。そんな、現場と神学校との行き来もステキです。

来年度入学あるいは聴講希望者の願書受け付けも締切間近。このレターが届く頃には受験者が確定していることでしょう。昨年度はぎりぎりまで願書到着が少なく気を揉んだのですが、今年度は早々からどっさり(というかポツポツ)届き始め、現在のところ外部からの受験者が十数名ほど。これに聴講から正規生への編入希望者がその半数ほど加わる予定です。施設面など整っていない部分も多い本校を受験して下さることに、申し訳なさ(?)と責任の重さを痛感。こんな時代なのに、いやこんな時代だからこそ、献身して学びたい、主にささげてお仕えしたいという方々が多くいる熱意を感じます。こりゃ、夜8時9時までかかってもしっかり面接をしないと。

ここでクイズ。今回の入学希望者の中に、ある共通点を持つ方々が複数います。それは何だと思えますか? 正解は、次回のレターでご披露予定。当たってもなんにも賞品は出ませんけど。

## ● 卒業式、入学式にどうぞ

卒業式は3月15日(月)6時半です。明るさが取り柄の本校ですから、7名卒業も相まって、盛り上がりそう(厳粛さもそれなりに)。卒業生所属教会の佐久間章先生が説教をしてくださいます。個人的にも親しい先生ですので楽しみ。感謝会はすし詰めでしょうね。入学式は4月1日(木)6時半。説教者はマイクの要らない(壊れる)、比較宗教&日本教会史の勝本正實先生です。緊張している新入生にどんな励ましを? いつも司式をお願いしているので、今回はどうしようかな。

## ● しなやかに、楽しく

先日、ある打ち合わせでお客さまが自宅に来訪。ひとしきり話をした後、そこにあった箱いっぱい LPレコードを見て、自分の所有するレコード三百枚(!)をもらってくれないか、と。今週売却処分の予定なのだが、業者に売っても二束三文だし、長年集めたレコードの価値がわかる人にゆずることができたら、との拝むような(お互いクリスチャンですが)依頼でした。思わぬ申し出にアタマグルグル、一晩考え、家内の許可を得て(これが大事)引き取ることに。後日届いた段ボール三箱を開ければ宝の山! 一枚一枚に思い入れがあるのもよくわかります。とりあえず校長室に置きましたが、めっきり動きのなかった我がターンテーブルが、にわかに脚光を浴びそう。それもこれも、中学時代からのレコードフリーク(楽器はからきしダメ)とオーディオいじり(休命中)のたまもの。天文とカメラで手一杯ですから、「眠れる獅子」を起こさぬよう、そっと静かにLP盤を聴いてみます。日頃から神学生たちにも言っているのです。いいかい? 趣味にはお金をかけるんだよ、と(コレ、なんという科目で教えたらいいのでしょうか)。なによりも伝道牧会者には、しなってもポッキリ折れないしなやかさ(したたかさ?)と、三度の飯に優る遊び心が求められます(と確信します)。だからこのニュアンス、わかってくださいませよ。

## ● 聖契神学校の予定と祈りの課題

- ・ 卒業する7名の残された学びと今後の歩みのため。在校生66名が、3月半ばまでの後期、霊肉ともに支えられるように。4月からふさわしい献身者が多く加えられるように。
- ・ 3月をもって退職する長谷川義信師(定年)、小川国光師の今後のお働きと健康のため。
- ・ 教会に仕えつつ働き人を訓練し養成する神学校の働きが守られ、キリスト教界における使命を全うできるように。教職員15名、運営委員3名、理事5名の働きが支えられるように。多くの支援者が備えられ、運営面や経済も守られるように。